



あらかじめ  
**予**  
富岡 勝則

皆さんこんにちは。

毎年つらい花粉症ですが、今年もスギ花粉が2月の中旬から飛び始めているようです。関東では例年並みの飛散量だそうで、衣服の素材を綿や化学繊維などの花粉が付着しにくいものにしたたり、飛散量の少ない時期からマスクをするなどの対策が良いようです。私も毎年花粉症に悩まされていますが、皆さんも早めの対策でつらい花粉症を乗り切ってください。

さて、市では、2月4日土曜日の早朝、朝霞市で震度6弱の地震が発生したという想定で、職員の緊急参集訓練を抜き打ちで行いました。

当日は、午前7時に電話の緊急連絡網を使って訓練を開始しました。連絡を受けた職員は、電車が止まっているという想定の中、徒歩や自転車などで災害対策本部のある市役所本庁舎や地域防災拠点となっている各小学校に駆けつけました。朝霞台出張所

や公民館などの通常勤務の職員を除く対象職員603人のうち、1時間後の午前8時に参集できた職員は174人で参集率は29%でした。訓練終了の午前11時には467人の職員が参集し、参集率は77%となりました。実際に震災が発生した時には、道路事情などもあり、短時間でこれだけの人数の職員が集まるとは思いませんが、抜き打ちで行った訓練としては、まずまずの人数だったと感じています。

また、訓練終了後に対象職員にアンケートを行い、電話連絡にどのくらいの時間がかかったかや何か気づいた点はなかったかなどを調査しました。このアンケート結果も含め、今回の訓練で得られた問題点などを洗い出し、今後の対応に活かしていきたいと思います。

職員は、休日・夜間を問わず、朝霞市で震度5弱以上の震度が観測された時には、自主的に市役所本庁舎や地域防災拠点に参集し、避難所の開設や被害情報の収集、帰宅困難者が発生している場合には、その対応に当たることになっています。

東日本大震災が発生してから、まもなく1年になろうとしています。市では、この震災を教訓に災害時の応援協定を締結したり、被災地に職員を派遣し災害復旧活動に従事させるなど、さまざまな準備を進めています。皆さんも、あらかじめ家具を壁に固定したり、緊急時の水や食料を保存するなど、日ごろからの備えをお願いします。ではまた。

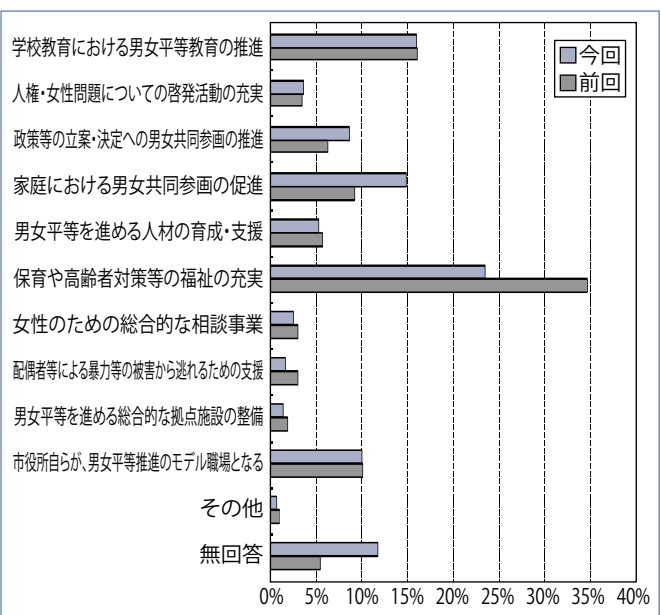
## 朝霞市は男女平等を進めています

### 一市民意識調査結果から見てきたこと⑫ 「男女平等社会の確立をめざして朝霞市が力を入れるべきこと」

男女平等社会の確立をめざして朝霞市が力を入れるべきこととして、1位に挙げられたのを見ると、「保育や高齢者対策等の福祉の充実」が23.5%で最も多く、次いで、「学校教育における男女平等教育の推進」が16.0%、「子育てや家事など家庭における男女共同参画の促進」が14.9%、「市役所自らが、男女平等推進のモデル職場となる」が10.0%の順となっています。

前回調査（平成20年度）と比較すると、「保育や高齢者対策等の福祉の充実」が11.2ポイントも大幅に減少しています。市の福祉施策がある程度の成果を上げていることが考えられますが、依然として最も多くの方が1位に挙げています。一方で「子育てや家事など家庭における男女共同参画の促進」が5.7ポイント、「政策等の立案・決定への男女共同参画の推進」が2.4ポイントの増加となっており、直接的な支援に加え、教育や啓発の充実、市役所自らの取り組みなど、より多面的な施策が求められています。

市では、今後も課題を整理し検証しながら、男女平等社会の確立に向けさまざまな施策を推進していきます。



\*「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」は平成22年6月に実施しました。

\*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問／人権庶務課 内 2255  
☎463-2697

### ひとの推移

人口 13万1,328人 (+80人)      世帯数 5万9,446世帯  
 男 6万7,105人 (+62人)      ( +43世帯)  
 女 6万4,223人 (+18人)      平成24年2月1日現在 ( )内は前月比